

第 35 回四国内視鏡外科研究会 開催再延期のご連絡

この度、2022 年 2 月 19 日（土）に徳島県徳島市にて第 35 回四国内視鏡外科研究会の開催をお世話させていただき予定でございましたが、新型コロナウイルス感染症の影響で開催をさらに 1 年延期させていただくことになりましたので、ご報告申し上げます。

前回の香川県開催当番世話人である岡野圭一先生の、ビデオシンポジウムに加え全員討論会を導入するという新たな取り組みを踏襲しつつ、テーマを内視鏡外科における安全性の追求として研究会内容を考えておりました。

開催方法も従来形式を軸にハイブリッド形式や完全 WEB 形式での開催も考慮して進めて参りましたが、新型コロナウイルス感染症の拡大は 2 年間に及び、デルタ株による第 5 波は我々医療関係者の活動にもかつてないほどの大きな影響を及ぼしました。ワクチン接種者のブレイクスルー感染もその割合を増し、医療関係者からブースター接種が行われ、さらに年末から 2 月頃までは第 6 波が予測されるとの情報が一般的見解となってきました。

代表世話人である愛媛大学医学部消化管・腫瘍外科学講座教授 渡部祐司先生にも相談させていただいたところ、研究会開催が望ましいが再び臨時世話人会で決議することをご提案いただき、去る 9 月 17 日（金）に臨時世話人会を WEB 会議として開催していただきました。

ハイブリッド形式並びに完全 WEB 形式での開催は経済面ならびに受送信画質の低下の問題があるため、ワクチンのブースター接種やゲームチェンジャーたる経口治療薬が開発されて、安心な参加が保証されたうえで従来形式での開催を行いたいと再延期を提議させていただいたところ、参加世話人全員の賛同を得られました。皆様に感謝申し上げます。

よって、2021 年 2 月の研究会開催はさらに 1 年延期し、2023 年 2 月 25 日（土）ホテルクレメント徳島での開催を再計画しております。今回のコロナ禍による内視鏡外科領域での対応なども含めてご討議願えれば幸いです。

第 6 波は実際に始まり、オミクロン株が猛威を振るいつつある時節柄、皆様方にはどうかご自愛くださいますようお願い申し上げます。

令和 4 年 1 月 7 日

第 35 回四国内視鏡外科研究会 当番世話人
八木 淑之（徳島県立中央病院 副院長）